

産技連知的基盤部会地質地盤情報分科会 平成 25 年度講演会のお知らせ

講演会タイトル 「東日本大震災による液状化被害と地質地盤情報の活用」

日時 平成 25 年 12 月 6 日（金）13 時～17 時

場所 明海大学浦安キャンパス 第2管理・研究棟3階4301大会議室（千葉県浦安市 JR京葉線新浦安駅下車徒歩10分）

主催 産業技術連携推進会議 知的基盤部会 地質地盤情報分科会

共催 明海大学不動産学部 （独）産業技術総合研究所

開催趣旨 2011年に起こった東日本大震災において、千葉県や茨城県では広域的な地盤液状化による被害を受けた。この液状化被害のリスク軽減のための研究や対策が多くの研究機関や自治体で進められている。講演会ではこの研究の最新動向を報告し、社会ニーズに応えるための地質地盤情報の活用の重要性を提示する。

プログラム

13：00～13：10 開会のあいさつ

- ・産業技術連携推進会議 知的基盤部会 地質地盤情報分科会会長 牧野 雅彦
- ・明海大学 不動産学部学部長 中城 康彦

13：10～13：40 本間 勝（明海大学不動産学部）

「浦安市における液状化被害・復旧状況と不動産取引における地質情報の活用策」

13：40～14：10 小荒井 衛（国土地理院地理地殻活動研究センター）

「東日本大震災における液状化被害と地理空間情報を活用した液状化発生危険度の予想」

14：10～14：40 先名 重樹（防災科学技術研究所社会防災システム研究領域）

「2011年東北地方太平洋沖地震における液状化発生地点と発生率」

14：40～15：10 潮来市建設部

「潮来市における液状化被害直後の対応について」

15：10～15：25 休憩

15：25～15：55 風岡 修（千葉県環境研究センター）

「液状化-流動化した層準と地質構造 -メカニズム解明・対策方法を視野に入れた地質調査の例-」

15：55～16：20 水野 清秀（産業技術総合研究所地質情報研究部門）

「液状化しやすい地質特性の解明—利根川下流域を対象とした産総研でのとりくみの紹介—」

16：20～16：45 神宮司元治・光畑裕司・横田俊之・中島善人（産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門）

「利根川下流域における液状化被害地域の物理探査・原位置試験調査—液状化調査技術の新展開—」

16：45～17：00 総合討論

問い合わせ先 産技連 知的基盤部会 地質地盤情報分科会事務局（産業技術総合研究所内）

中澤 努 029-861-3956 t-nakazawa@aist.go.jp

中島 礼 029-861-2554 rei@ni.aist.go.jp

*以下のリンクから宣伝チラシのダウンロードと CPD の登録が出来ます。

<https://www.gsj.jp/information/domestic/sgr/index.html>

明海大学内の地図

